

みやした そういちろう 宮下宗一郎

青森新時代を創る11の柱と90の政策

今、歴史的転換点にある青森県。
お一人おひとりの県民の皆様から選ばれた知事として、皆様に寄り添って、皆様のために突き抜けていく存在となり、県民の皆様との理解と協力を得ながら、40市町村を牽引し、日本をリードする「青森新時代」を目指していきます。



PROFILE

公選職歴/
むつ市長(平成26年6月～令和5年3月)
生年月日/
昭和54年5月13日・むつ市生まれ
学歴/
青森県立青森高等学校卒業(青森市暮らし)
東北大学法学部卒業(平成15年3月)
経歴/
国家公務員1種試験(法律職)合格
国土交通省入省(平成15年4月)
「道路局係長・まちづくり推進課課長補佐・建設業課課長補佐・東北地方整備局用地企画課長
外務省出向
「在ニューヨーク総領事館領事(平成24年6月)
家族/
妻、長女(14)、次女(8)、母
その他職歴
一部事務組合下北医療センター管理者
(平成26年6月～令和5年3月)
しもぎたTABIあしすと(DMO)理事長
(平成28年～令和5年3月)

1 燃料・電気・物価高等緊急対策実施
スリード実施へ

社会情勢の変化に応じて事業者・生活者の支援を実施。県庁内に知事を本部長とする緊急対策本部を設置します。スピード感をもった対応を実現。県内生産者にとっても課題の2024年問題について国への提言をまとめます。

2 人口減少・少子化へ挑戦
子育て費用無償化へ

少子化の要因を分析し政策を立案実行するため、「青森こども未来県民会議」を設置し、給食費等を含む子育て費用の無償化などを進め、合計特殊出生率2以上に道筋をつける少子化対応政策「青森モデル」を確立します。

3 新たな医療連携のあり方構築
患者負担軽減へ

県立病院・全県の2次医療機関の費用負担・医療従事者配置について再編・再構築により県内の医療格差を是正します。1次医療機関から3次医療機関までのネットワーク化、オンライン診療の普及により患者負担を軽減します。

4 再生可能エネルギーと自然との共生
自然と共生へ

八甲田風力発電は白紙撤回を実現します。再生エ推進と自然との共生を図るためのゾーニング条例を制定することにより、風力・太陽光ともに自然保護エリアを定めて禁止区域を明確に定め、促進エリアでは開発を可能とし自然との共生を図ります。

5 世界とつながる青森へ
県民所得アップ

生産者の所得向上のプログラムにより、リンゴ、コメ、野菜、果物、畜産、酪農、林業、水産の全てで豊かさが実感できる「シン・青森農林水産業」を目指し、世界へ発信します。観光客数・消費額を回復させインバウンドは10年で倍増を目指します。

6 気候変動・大規模災害へ挑戦
いのちを最優先に

日本海溝等の巨大地震・津波に備え、津波防災タワーの研究・開発を迅速に進め、沿岸市町村で整備推進します。頻発する豪雨災害には、現場を大切に、県と市町村の災害対策本部をデジタル技術で連動させ緊急対応の即応性を高めます。

7 スポーツと文化が花咲く青森へ
子供の夢応援へ

3年後の国スポ・障スポに向け、競技施設の整備等に万全を期し、選手と指導者の育成を進めるとともに、子供達の夢を制約せず叶う環境づくりを進めます。縄文遺跡群などの世界遺産について世界に発信し、文化財のデジタル化や海外展示も進めます。

8 青森の若者が世界に咲き誇る未来に挑戦
若者が輝く青森へ

ひとり親家庭や貧困家庭などの子どもを地域ぐるみで支援する体制をつくり出します。経済的理由で夢をあきらめることのないよう高校生、大学生に給付型奨学金を拡充します。海外大学へ挑戦する若者を応援する教育プログラム導入にも取り組みます。

9 あおもり新共生社会の実現
つながる優しさ

多様性を認め合い、差別のない、あたたかな「あおもり新共生社会」を目指します。障がい者の自立と災害時の支援も充実させます。医療的ケア児とその家族の状況に応じた支援を実施します。高齢者の集いの場を市町村と連携して充実させます。

10 市町村長と知事の新たな連携
住民に身近な県政へ

県民の皆様の身近な課題を解決するため、その最前線に立つ市町村長と連携し日常的に課題を共有し、地域ごとでなく、一つの青森として解決に向かい前進する新しい連携を実現します。知事と40市町村長とをオンラインで常時接続し連携を強化します。

11 社会資本整備と健全財政の確立
県民に貢献する積極財政へ

国の補助金・交付金を積極活用し県土の強化、高規格道路のネットワーク化、防災減災インフラ整備等の社会資本整備に積極的に取り組みます。経常収支比率、健全化判断比率、県債残高等に常時注視し、安定的県財政で県民経済に貢献します。

「90の政策」の詳しい内容はこちらからご覧いただけます